

古村 耀子 イラストレーション 個展

アートギャラリーのようでギャラリーではないー

“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」
(以下「BIOME」) によるKanjiru (Art) 展覧会のご案内となります。

古村 耀子 イラストレーション 個展

「 いろいろ 」

会 期：2020年7月18日（土）～7月26日（日）

時 間：13:00～19:00（最終日は17:00閉廊）

休 廊：7月22日（水）

在 廊：在廊の予定はございません

作 品：約30点 アクリル、ドローイング など

今年3月の開催が延期となった、東京での活動を中心とする古村耀子氏の個展。ようやく開催できることとなりました。題して「いろいろ」。

古村氏が描くシュールで、クールな、女性、インテリア、動物の世界を、“いろいろ”みていただき、“いろいろ”考えていただく。新型コロナウイルスの影響で、変わり始めている生活を見つめなおす時間となる展覧会をBIOMEがご案内いたします。

アーティストのご紹介：

古村耀子 (Yoko Komura)

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科 卒業

グラフィックデザイナーを経て、イラストレーターとして活動

主な出展など 2019年11月 スペースユイ「モード」(北青山)

みどころ

お洒落。可愛らしい。古村耀子氏への賛辞。

作品からBIOMEが感じるのは、言葉ではまとまらない、複雑性ともいえる魅力。

パールトーンを、物哀しくとらえたり、クールにとらえたり。またはフェルトな温もりを感じる人もいたり。キラキラと瞬く瞳を空虚に、スタイリッシュなインテリアは見た目とは違う何かを象徴していたり。

織り込まれた熱い色には、痺れるような痛みを感じたり。

東京を中心に活動している古村耀子氏が、初の神戸での個展でのご案内するテーマは「いろいろ」。

原画で楽しめるアクリル画は、直接観ると迫力があります。またドローイングのプリントは、シンプルに線を追いかけていただきたい。

古村耀子氏の作品は、どれも、皆さまに心から楽しんでいただけるものと期待を抱いております。

ぜひお立ち寄りください。

別紙
2020年6月



Kanjiru (Art) 展覧会

古村 耀子 イラストレーション 個展

「いろいろ」

2020年7月18日（土）～7月26日（日）＊7月22日（水）は休廊
13:00～19:00（最終日は17:00 閉廊）



©古村耀子2020 「水珠のバッグ」 180×240mm アクリル